

# The Value Creation Process

価値創造のプロセス

野村グループでは「金融資本市場を通じて、真に豊かな社会の創造に貢献する」という社会的使命のもと、日々、ビジネスを行っています。  
急速に変化する環境下、グループの総合力・強みを活かし多様化するお客様のニーズに最適なソリューションを提供することで、本業を通じた豊かな社会の創造を実現し、あらゆるステークホルダーに価値を提供してまいります。



### お客様からの信頼、国内トップクラスの顧客基盤

顧客資産残高 126.6兆円<sup>\*1</sup>  
運用資産残高 64.7兆円<sup>\*1</sup>  
国内上場会社主幹事比率 約4割 / 幹事比率 約6割<sup>\*2</sup>  
日本株売買シェア 1位<sup>\*3,4</sup>  
円金利プロダクト顧客シェア 1位<sup>\*4</sup>  
コーポレート・アクセス・プロバイダー 1位<sup>\*5</sup>  
コールセンター 5つ星認証<sup>\*6</sup>  
顧客満足度(対面証券部門) 1位<sup>\*7</sup>

### 深い分析力と先見性を強みとしたリサーチ力

グループのリサーチ機能を一つの組織に集約  
2020年7月コンテンツカンパニー設立  
33の国・地域のマクロ経済をカバー  
デジタルを活用したリサーチ配信プラットフォーム  
**P37** FINTOS!

### サステナビリティ関連におけるプレゼンス

- サステナビリティ関連ビジネスにおける高い専門性、ソリューション提案力
- インベストメント・バンク・オブ・ザ・イヤー(サステナブル・コーポレート・ファイナンス)受賞<sup>\*10</sup>、責任投資原則(PRI)の年次評価にて最高評価を獲得<sup>\*11</sup>、CDP リーダーシップレベル A<sup>\*12</sup>
- Dow Jones Sustainability Indices、MSCI日本株女性活躍指数(WIN)、FTSE Blossom Japan Index等のESGインデックスへの組み入れ

### 多様性を備えた優秀で厚みのある人材

多国籍な人材構成~約90の国籍  
充実した研修プログラム、適正な人事評価システム  
PRIDE指標2020、Gold受賞<sup>\*8</sup>  
健康経営優良法人2020(ホワイト500)<sup>\*9</sup>

### 本格的なグローバル事業基盤

高いシェアに裏付けられた商品供給力 <b>P03-04</b>	日系随一のグローバル投資銀行プラットフォーム <b>P03</b>	グローバルな資産運用ビジネスの基盤 <b>P41-42</b>
GMプロダクトの市場シェア	グローバルM&Aリーゲテーブル	インベストメント・マネジメント部門

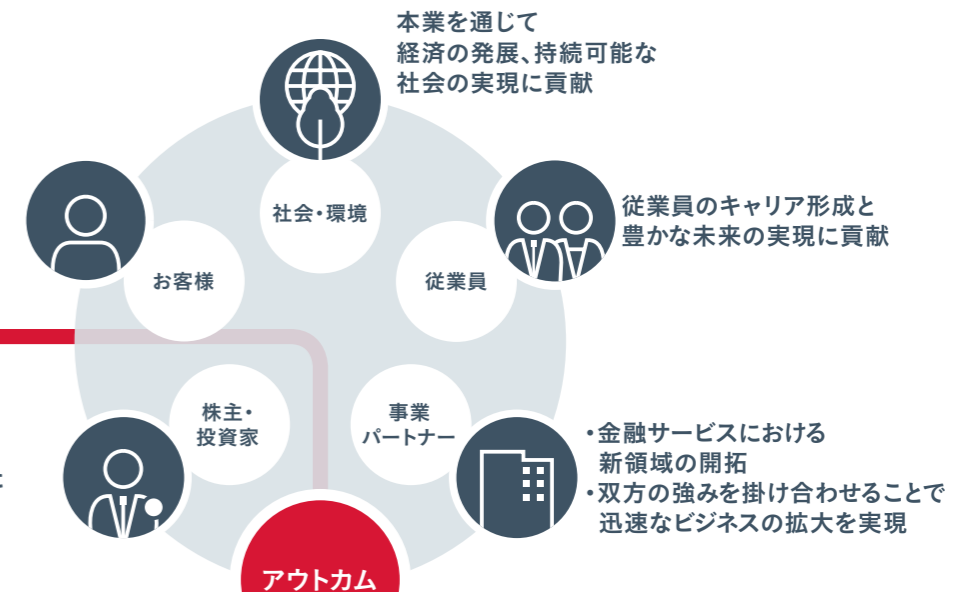
### 事業パートナーとのシナジー

金融サービスにおける新領域を開拓するための基盤 <b>P38</b>	地域金融機関やその他の事業パートナーとの強固な関係性 <b>P36</b>
デジタル新技術を活用したサービス	事業パートナーとの連携

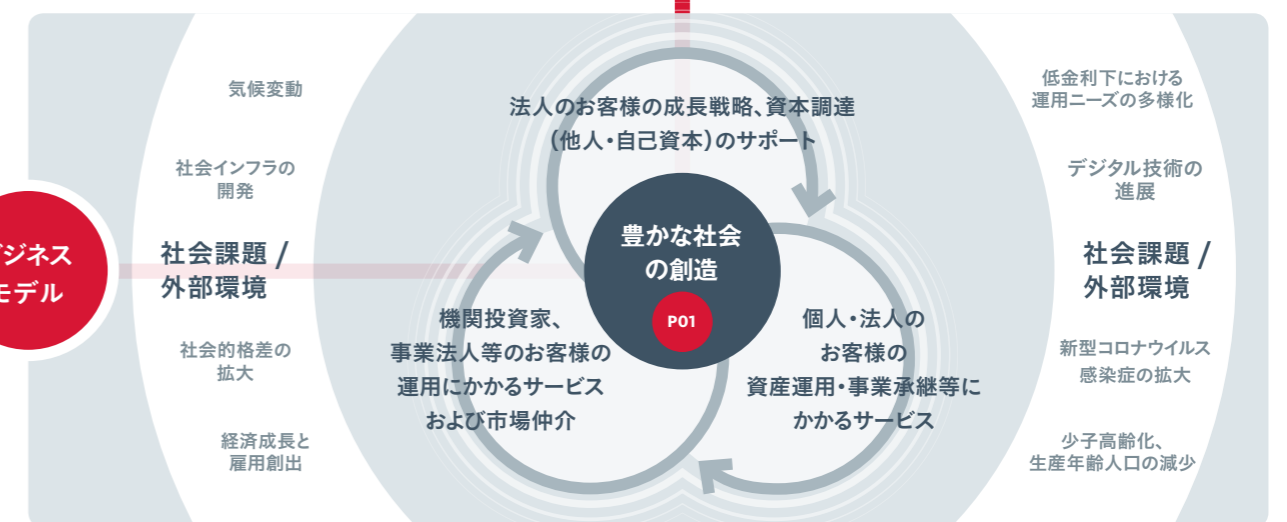
### 強固な財務基盤

連結普通株式等Tier1比率 15.8%<sup>\*1</sup>  
流動性ポートフォリオ 5.7兆円<sup>\*1</sup> **P17-20**

お客様の豊かな未来やイノベーションの創出に寄与



KGI	2023年3月期目標	2025年3月期目標	
	ROE 8%以上	税引前当期純利益 3,200 億円	ROE 8~10% <b>P14-15</b>
サステナブル・ファイナンス		CO <sub>2</sub> 排出量削減	金融・経済教育
資金調達支援総額 <sup>*</sup> 2021年3月期 8兆4,803億円		2013年3月期基準 54.8%削減	受講者数 <sup>*</sup> 91万人以上
※責任銀行原則(PRB)に基づき、野村グループが主幹事を務めた資金調達支援総額		※大学の寄付講座や小・中高生向け金融・経済教育の出張授業累計受講者数(1990~2021年3月期 実施累計)	



価値創造を支える基盤

ITインフラ

リスクマネジメント **P65-70**

コーポレート・ガバナンス **P49-54**

コンプライアンス **P63-64**

行動規範 **P61-62**

サステナビリティの取り組みを推進する社内体制 **P27-30**

価値創造を支える基盤

※1 2021年3月末現在  
※2 出所:東洋経済 会社四季報(2021年2集 春)を基に当社で作成  
※3 出所:Greenwich、期間:2020年1月~2020年12月

※4 日本国債および政府機関債を含む。出所:Greenwich、期間:2020年1月~2020年12月  
※5 出所:Institutional Investor、ジャパントップ・コーポレート・アクセス・プロバイダーズ ランキング(投資家票)  
※6 出所:LDI

※7 出所:J.D.パワー 2021年個人資産運用顧客満足度調査  
※8 出所:work with Pride  
※9 出所:経済産業省、日本健康会議

※10 出所:The Banker、Investment Banking Awards 2020  
※11 出所:PRI年次評価報告書(アセスメントレポート)  
※12 出所:CDP 気候変動 レポート 2020